宇井正一

うい しょういち 議員

質問事項

- ◆山田地区の産業廃棄物等の不法投棄
- ◆学校給食費の無償化に向けた取り組み
- ◆農業振興に対する市長の基本的な方針
- ◆山田支所・栗源支所の取り扱い業務の見直し

残土・再生土禁止条例の制定を急いで

問 昨年、山田地区へ不法投棄された産業廃棄物の特定はされましたか。9カ月も経過しているのに、本気で行政指導しているとは思えません。

答 指導票に対する報告書の提出を行い搬入物の撤去を含め行為者に対し指導しているが、報告がなされていないため、特定はできていない状況です。

問 再生土・残土埋め立て処分場の規制は待ったなしです。規制条例制定の方針は。

答 再生土に係る条例については、近隣市町の条例などを参考とし、再生土の香取市への持ち込み禁止を含めた条例制定を早急に進めていきます。

学校給食費の無償化を早急に

問 学校給食の無償化は、完全無償化が県内8自治体あります。香取市でも今年度中に、小学6年生、中学3年生を対象に開始すべきではありませんか。

答 財源確保を含め検討していきたいと考えます。なお、実施に当たり給食費システムの改修に約3カ月が見込まれるものと思われます。

問 政府の進めるコメ政策は、農業振興と真逆です。肥料などの高騰で農業がつぶれます。国にしっかり意見を言うべきではありませんか。

答 農業生産者の皆さんにとって危機的な状況であると思われます。生産者の立場に立ち、市の実情を踏まえた施策について国・県と意見交換をしていきたいと考えます。

問 政府は合併した市町村へ、支所機能の低下を招かないために交付税措置をしています。支所機能をもとに戻してはいかがか。

答 ITの最新技術を導入しながら、支所で扱える項目を以前のように少しでも取り戻せるように検討していきたいと考えます。

山田支所

栗源支所

辻広達

つじ たつひろ 議員

質問事項

- ◆帯状疱疹ワクチン
- ◆市のインフラ整備

帯状疱疹ワクチンの推進で「未病長寿の街」の創生を

問 帯状疱疹ワクチンの効果をどのように評価しているのか。

答 帯状疱疹は、加齢などによる免疫力の低下により発症リスクが高まるとされており、ワクチン接種により予防し、発症や重症化を抑えることができることは意義のあることと考えます。全体の健康レベルを高める観点からも、ワクチン接種の活用が考慮されるべきものと認識しています。

問 帯状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているか。

答 帯状疱疹ワクチンについては行っていません。現在、コロナ禍におけるストレスや運動不足などにより免疫力が下がり、帯状疱疹の罹患者が増加することが懸念されます。今後、帯状疱疹の特性や予防接種などについて周知方法を検討していきます。

問 市民の健康を守るという観点から、帯状疱疹ワクチン接種の助成をすべきと考えるが見解は。

答 国の動向に注視するとともに、市としては、先進事例などを研究し、ワクチン接種費用助成の可能性を検討していきたいと考えます。

定住促進の為の公共交通網形成計画推進を

問 令和3年度における計画の進捗状況、担当部署による改善点、修正点などを含んだ評価は。

答 令和3年10月に循環バスの再編を実施し、各ルートの路線見直しによる運行の効率化および利便性の向上を図ったところです。今後、関係機関などと協議しながら、適宜、より利用しやすく利用者の増等につながる公共交通施策を推進していきます。

問 市長公約における小見川大橋の架け替え、4車線化についての具体策は。

答 市としては、沿線の市町により構成される一般国道356号整備促進期成同盟並びに県道成田小見川鹿島港線整備促進協議会を通じて渋滞緩和について要望していきたいと考えています。

問 鉄道の現状と今後の公共交通としての位置付けは。

答 佐原駅および小見川駅の1日当たりの平均乗車人員は、両駅ともに大幅な減となっています。鉄道は、都市間アクセスの役割を担うもので、輸送力や定時性に優れた重要な公共交通インフラであると認識しています。

佐原駅

小見川駅